

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

宇宙開発への期待

船橋市立行田中学校

第二学年 穴澤 恒輝

日本の税金は五十種類ほどあります。こんなにたくさんある税金のうち、僕が知っていたのはせいぜい二〜三種類でした。僕が税金のことを調べようと思ったきっかけは、「税金の無駄遣い」という言葉があるニュース番組で耳にしたからです。本当に税金に無駄遣いなんてあるのでしょうか。もし僕たちが価値のないことにお小遣いを使ってしまったら、親はがっかりするでしょう。それと同じではないかと思いついたところ、歳出のグラフに文教及び科学振興費（教育や科学技術の発展のために）という項目を見つけました。

僕は科学技術部に所属しているので、科学に興味があります。そこで、さらに詳しく調べたら、宇宙開発にも税金が使われていることを知り驚きました。科学技術振興費は、ライフサイエンスをはじめ基礎的研究のほか、

宇宙開発、海洋開発、コンピューターなどの研究開発に役立てられています。科学技術に力を入れることは、日本の国際競争力を強化するだけでなく、国際的な取り組みに貢献するという重要な意味があるそうです。

令和六年度の科学技術振興費の予算は一兆四千九十三億円で、内閣府によると宇宙関係予算はそのうちの八千九百四十五億円になります。この予算は、温室効果ガス、宇宙太陽光発電の開発、気象衛星ひまわりの運用などです。税金からの予算を使い、人間が月旅行するという単なるロケット開発だけではありません。たとえば大気を立体的に観測し、集中豪雨をもたらす線状降水帯を事前に今より早く正確に予測することが可能になります。今年の夏、各地に被害をもたらした集中豪雨で、河川が氾濫したり家屋が倒壊したりしたことが原因で、命まで落としてしまった人た

ちがいます。しかし、宇宙開発によって、少しでも早く気象情報を知ることができれば、事前に準備をすることで、助かる命もあると思います。警察官二名が住民の救助のために出勤し、濁流にパトカーごと流され尊い命を落とされたことは、記憶に新しく心に残っています。宇宙開発によって、このような悲しいニュースを見ることがなくなることを期待したいと思います。また、現在の太陽光発電は、太陽が出ている時間帯での蓄電なので、夜間や天候によって左右されるというデメリットがあります。しかし、宇宙太陽光発電の開発によって、その問題もなくなり、電力の資源問題も将来は解決されると思います。

このように宇宙開発は、将来的に僕たちの日常生活を快適にすることができるので、税金の無駄遣いにはならないと考えています。僕たちが必要だと思つたお小遣いと同じに必要なものになります。将来国民の生活がよりよいものになり、国民が納得し必要だと思つたものは、税金の使い道として間違っていないとはいえないと思います。今後もこのような宇宙開発に期待し、新たな情報を知ることが僕を楽しみにしています。